

令和2年7月2日  
全学内部質保証委員会決定  
令和3年5月19日  
全学教育内部質保証委員会一部改正

## 創造科学技術大学院自然科学系教育部 教育の質保証ガイドライン

創造科学技術大学院自然科学系教育部では、当該教育部での教育プログラムにもとづいて修得した知識と研究遂行能力の評価を以下の通り行います。また、教育プログラムの内容、授業の方法が適切に実行されているかを以下の通り検証します。

### 1. 評価の内容と方法

#### (内容)

時代に即応した幅広い素養と深い専門知識を有する国際性豊かな先端技術者や研究者を養成することを目的とし、下記に示す能力を身につけた者に学位を授与します。

(1) 専攻と分野ごとに定められた学術論文に関するガイドライン基準を満たし、専門領域における深い知識を有しているかを評価します。

(2) 時代に即応した幅広い素養、及び国際性豊かな知識を有し、地域社会や国際社会の期待に応えられる創造力、自己問題発見能力、自己解決力、コミュニケーション能力を有しているかを評価します。

講義では、専門知識と幅広い素養を主として評価します。

演習並びに特別研究では、専門知識のほか、創造力、自己問題発見能力、自己解決力、コミュニケーション能力を評価します。

#### (方法)

専門領域における知識は、口頭試問やレポート等の成績にもとづいて評価します。

創造力や自己問題発見能力、自己解決力、コミュニケーション能力は、中間発表や学会・シンポジウム発表等への参加を必須とし、学位論文審査と最終試験の成績にもとづいて評価します。

### 2. 評価の基準

口頭試問やレポートは、専門領域における知識の理解度によって点数化し、成績とします。

博士論文は、学会に認められた客観性のある内容か、あるいは論理性、独創性、発展性を有する必要があります。

最終試験は、博士論文の内容に関する口頭試問にもとづいて、創造力、自己問題発見能力、自己解決力、コミュニケーション能力を評価します。

科目の成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で表記され、「秀」「優」「良」「可」を合格とし、履修単位として認めます。「不可」になった科目については不合格とします。秀は100

～90点、優：90点未満～80点、良：80点未満～70点、可：70点未満～60点、不可：60点未満とします。

最終試験の成績は、「合」（合格）及び「否」（不合格）で表記します。

成績は、GPAと共に学生に提示します。静岡大学におけるGPAの算出方法は、別に表示します。

### 3. 教育プログラムの点検と評価

創造科学技術大学院自然科学系教育部の教育プログラムについての点検と評価は、当該教育部の内部質保証委員会が実施します。本委員会は、創造科学技術大学院に所属する委員によって構成されます。

教育プログラムの点検と評価として、年に一度、学位論文の最終審査結果の確認と、IR調査等のデータ分析を行います。また、その点検と評価の実施状況については、創造科学技術大学院自然科学系教育部を通して、全学教育内部質保証委員会に報告を行い、教育内容及び教育方法の改善のPDCAサイクルの確認等を行います。

### 4. その他のオリジナル項目

創造科学技術大学院では、進展が期待される周辺分野の知識を学ぶ「新領域科目」や社会ニーズに対応した「基盤的共通科目」などの「T字型教育」を行います。さらに、より高い国際性を有する技術者や研究者を育成する博士課程ダブルディグリープログラム、自然環境に関する深い科学的知識とリーダーシップを涵養する環境リーダー育成プログラムを実施しています。